令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

（第　5　区）

新潟県選挙管理委員会

湯沢町　津南町　妙高市　魚沼市　糸魚川市　十日町市　南魚沼市　上越市

とことん向き合う

新潟5区　暮らしを守り、雪国の未来を紡ぐ

中道改革連合 公認候補　うめたに守　52才

梅谷守プロフィール

- 1973年12月9日生、A型、身長182cm、体重80kg、足のサイズ29cm
- 早大卒、会社員（商社）を経て、2001年から政策担当秘書として質問づくりや法案作成等の政策立案に携わる。
- 2007&2011年、県議2期連続当選、2021年&2024年衆議2期連続当選
- 座右の銘「至誠にして動かざる者は未だこれあらざるなり」
- 趣味・スポーツ（バスケット、サッカー）ピアノ、読書

物価高から暮らしを守る

暮らしと経済を、とことん支える

- 食料品消費税ゼロ・積極財政で地方の暮らしと経済を守る
- 地域の病院を支え、安心して暮らせる年金・医療・介護へ
- 賃上げや適正利益の確保、人材確保等を支援し、苦境にある中小企業を支える

国のかたちを変える

一極集中から分散型の「しなやかな日本」へ

- 雪の負担を軽減し、雪を地域の力に変える「雪国振興法(仮)」をつくる
- ローカル線・バスなどの公共交通を公が支える仕組みを作る
- 観光振興を進め、インバウンドの恩恵を隅々まで広げる

地元の潜在力を引き出す

新潟5区を食料・エネルギーの重要拠点に

- 新たな戸別所得補償「食農支払」で農業者所得向上、農山漁村の活性化
- 上越沖メタンハイドレートの早期実用化、再生可能エネルギー等へ政策資源投入
- 予算を確保しインフラ整備を加速、企業誘致に積極的にチャレンジ。

人づくりこそ国づくり

「人口減少の反転」と「成長する日本」へ

- 子育て・教育予算を倍増、教育無償化など若者の経済負担軽減を図る
- 日本ならではの最先端技術の研究開発を加速、地元への社会実装を図る
- 教職の魅力向上&多忙化対策、子どもともっと向き合える学校へ

国民の生命・財産・平和を守り抜く

立憲主義・平和主義・専守防衛を堅持

- 「クマの被害防止体制整備法（仮称）」を策定、クマ被害から命と暮らしを守る
- 外国資本を適切に活用しながら、地域社会との共存ルールを整備
- 核なき世界を目指し、非核三原則を堅持。世界に凛と誇る日本へ

比例は ○ 中道改革連合

自民党公認　たかとり修一（しゅういち）

雪国に春を。積極財政。

私は雪国に生まれ、雪国で育ちました。衆議院議員を五期務め、安倍元総理、そして高市総理のもとで国政の中枢に携わってきました。高市総理の総裁選出馬当初から推薦人を務め、共に歩んできました。

政治は、国民を幸せにするためにある。この信念のもと、国家の尊厳と自由、そして暮らしを守ります。

責任ある積極財政で公共投資を進め、減税により家計の負担を軽くする。物価高騰対策を、高市総理とともに実現します。

医療・福祉・子育ての現場で働く皆さんの**処遇改善**を進め、原子力災害に備えた**避難路整備への国費配分**にも全力で取り組みます。

農林水産業は国の基。**「瑞穂の国の早苗基金」**を創設し、生産者を支えます。

高市総理と共に日本の閉塞感を吹き飛ばす、たかとり修一に託してください。必ずやります！

共に“働く”髙鳥修一さんは私の同志です。

私の総裁選出馬に際しても、覚悟を真正面から受け止め、「日本を救うためにやるべきだ！」と力強く背中を押してくれました。

私は今、経済再生へ「責任ある積極財政」を掲げ、信を問う決断をしました。この戦いに髙鳥さんの力は不可欠です。どうか皆様の力で、もう一度、髙鳥修一さんを私の元へ送り出し、共に明日の日本を創らせてください！

自民党総裁　**高市 早苗**

髙鳥さんと強く連携！

新潟5区自民党県議団

尾身 孝昭（十日町市中魚沼郡）　楡井 辰雄（上越市）
皆川 雄二（魚沼市）　松原 良道（南魚沼市南魚沼郡）
中村 康司（糸魚川市）　斎京 四郎（上越市）
小山 大志（十日町市中魚沼郡）

役職歴

- 衆議院農林水産委員長
- 自民党筆頭副幹事長・総裁特別補佐
- 農林水産副大臣
- 衆議院厚生労働委員長
- 内閣府副大臣
- 自民党厚生労働部会長
- 厚生労働大臣政務官

プロフィール

昭和35年9月29日生まれ
新潟県立高田高校卒業
早稲田大学法学部卒業
家族／妻、長男、次男

I am JAPAN

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。**日本はまだ間に合う。**

“3つの柱と9の政策”

1の柱　日本人を豊かにする　～経済・産業・移民～

1　“集めて配る”より、まず減税
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2　日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3　現場の人が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2の柱　日本人を守り抜く　～食と健康・一次産業・エネルギー～

4　食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5　エネルギーと資源確保が生命線
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6　安心医療で健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3の柱　日本人を育む　～教育・人づくり・国家観～

7　子ども一人につき月10万円
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8　受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9　日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党 とお書きください。

参政党の政策は▶こちらの特設サイトから！

たかの直行（なおゆき）　参政党公認

たかの直行 プロフィール　*「一緒に笑おう　一緒に育とう」*
1977年生まれ。48歳。新潟県糸魚川市出身。糸魚川市在住。
糸魚川商工高等学校卒業。会社員。2025年糸魚川市議選に出馬。
その後、参政党に入党。楽しい子育て、楽な子育てを目指し活動中。

（この選挙公報の掲載順序は、くじによって定めました。）

未来のためにみんなで投票!

投票日は2月8日(日)

棄権するとなくなる

投票しましょう